



岩切 社協だより

第25号 令和4年9月1日

発行：岩切地区社会福祉協議会

～地域ふれあい配布～



日用品・岩切小学校4年生
児童が書いたお手紙と特別
支援学級児童作成の折り紙



民生委員児童委員・福祉委員が高齢者宅を訪問
訪問世帯数 242 世帯



高齢者から児童へ返信され
たはがきやお手紙 75 通



岩切地区社会福祉協議会
会長 渡辺敏之

岩切地区の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、社会福祉協議会の活動に対しまして深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。私は、この度、評議員会（コロナ禍により書面表決となる）において、伊藤久雄前会長の退任により、後任の会長に選出されました。微力ではありますが、社会福祉協議会として地域での役割を果たす為、努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和3年度も残念ながらコロナ禍の為、福祉事業として企画した「地域ふれあい福祉懇談会」「豊齢ご夫婦の集い」など中止にせざるを得ないものでした。当協議会の重点項目である小地域福祉ネットワーク活動については、福祉委員が「安否確認・日常生活支援活動及びサロン活動」をコロナ禍における新ルールを守り、工夫を凝らして行っております。

特に民生委員児童委員と連携し、一人暮らしの豊齢者へ、心ばかりの感染防止対策品・日用品及び岩切小学校の児童の絵入りメッセージ・折り紙を添えてお届けしました。大層喜んで頂きお礼のハガキが沢山来ております。まさに豊齢者と子供たちのエールの交換が出来たかたちであります。この繋がりを大事にしたいと思います。

福祉委員研修会は「高齢者の減災・防災・防犯について」など4回実施しております。いずれも町内会長はじめ各種団体の協力を頂き行っておりますが、特に自然災害が各地で過去に経験したことのない規模で発生しており、いざという時の対応は喫緊の課題であります。今年度も更に各種団体との連携強化を進めたく考えます。

社会福祉とは、地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活できることを目指すものと認識しております。地域で町内会連合会が中心に提唱している「安全」「安心」なまちづくりの一端を、私ども社会福祉協議会も担うものと考えております。

一刻も早いコロナ禍の終息を願うばかりですが、今後ともお力添えの程よろしくお願いいたします。

令和3年度の事業をふり返って

■小地域福祉ネットワーク活動

「小地域福祉ネットワーク活動」とは、住民同士が網の目のように連絡・連携しながら、お互いの生活を支え合っていく活動です。感染症対策を徹底して次の3つの活動を行いました。

安否確認活動	日常生活支援活動	サロン活動
日頃から気かけ、声かけや訪問などを行う 延べ 6,096 回	軽微な家事や困りごとを出来る範囲で支援する 延べ 218 回	地域で支援する方・支援を受ける方、両方が一緒に楽しい仲間づくりの場 延べ 78 回

■福祉事業活動（表紙をご覧ください）

地域ふれあい配布（令和4年3月1日～31日） ～会えなくてもつながっている～

各地区の民生委員児童委員と福祉委員が主に75才以上の一人暮らしの高齢者宅を訪問し、その際にマスクなどの日用品、岩切小学校児童からのお手紙や折り紙、返信はがきを添えてお届けしました。高齢者から児童や訪問者への心温まるメッセージが寄せられ、コロナ禍の中お互いに思いやりが生まれた瞬間を共有しました。

・地域ふれあい福祉懇談会・夏休みこども食堂・豊齢ご夫婦の集い

※いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。



■研修会レポート

令和3年7月14日 テーマ「高齢者のための災害避難について」地元SBLの皆さんを講師に迎え町内会長・民生委員児童委員・福祉委員合同研修会を開催

私たちに出来る岩切防災宣言

キーポイント・・・程よい関係を保ちながらのご近所づきあい



情報をどう取るか、自分の判断基準を



自分の命は自分で守る
家族の命も同時に守る



自分の地域を、日頃から関わりのある方を知る
我が地域にあった対応を考える



和、両隣の助け合い
非常食、非常持ち出し袋の点検、補充



日々の暮らしの中で
声かけを!!



隣近所と仲良く!!



常日頃の人間関係を
良くしておいてお互いに助け合う

■ 広報活動

- ・ 岩切地区社会福祉協議会の機関誌「岩切社協だより」第 24 号を発行。岩切地区全世帯に配布
- ・ 「いわきり集いの場マップ」「いわきり集いの場紹介シート」（令和 3 年 3 月発行）、各町内集会所等に配置中



マップ作成の記事がシルバーネット情報紙に掲載
(令和 4 年 1 月号)

■ 各種会議・行事への参加

- ・ 市、区等の社協主催行事及び共同募金会会議に参加しました。
- ・ 町内会連合会主催行事や岩切市民センター事業「子どもの広場」、岩切地域包括支援センターケア会議に参加する等、地域社会との連携を深めました。

■ 団体支援・助成：以下の団体に支援、助成しました。

- ・ ◎岩切地区社明実施委員会 ◎岩切学区青少年健全育成協議会
- ・ 児童サークル（3 団体） ◎おひさまくらぶ ◎ちびっこクラブ ◎クレヨン広場
- ・ 介護予防運動自主グループ（6 団体） ◎畑中南 楽・ら・うくらぶ ◎ひまわりクラブ（今市下区）
- ◎おりづる会（台ヶ原） ◎円 遊々（余目） ◎山崎いきいきクラブ ◎岩切三丁目元気の会

介護予防運動自主グループ 円遊々（まどか ゆうゆう）

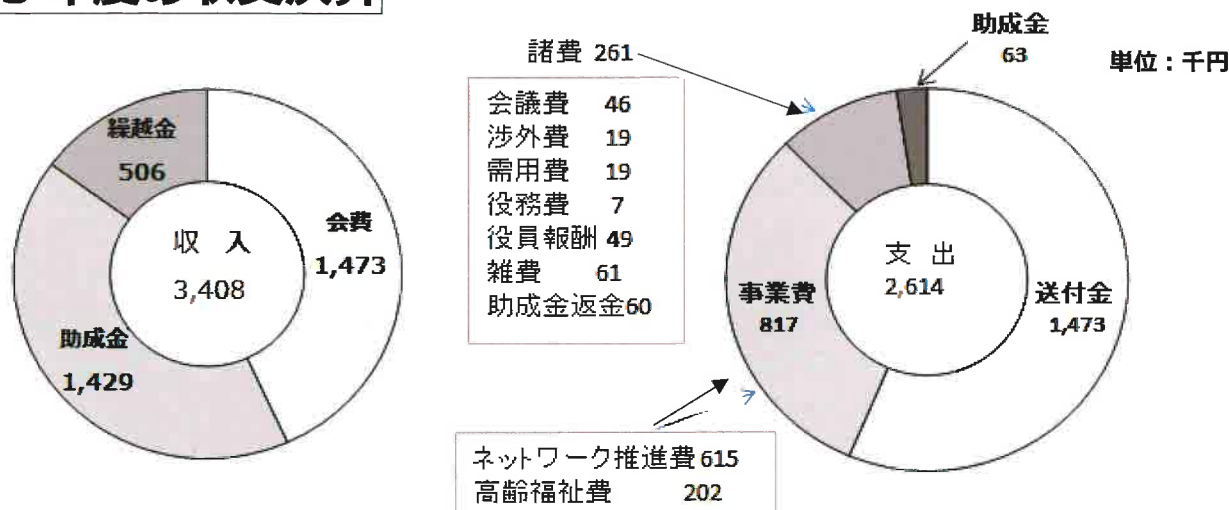
余目地区の紹介

平成 21 年度から始まった「円 遊々」は 13 年目を迎え、月 2 回会員 22 名サポーター 8 名で行っています。65 才以上の方を対象とし季節毎の歌を始めに歌い、お口体操、ストレッチング、脳トレ、転倒予防、ダンベル、手拭い体操等々で体をほぐし、レクリエーションでは、和気あいあいと笑顔で交流しています。又、七夕会では笹竹に七夕飾りをし、クリスマス会ではシクラメンをプレゼントして喜ばれております。

会員、サポーター共に高齢化が進み、若い方の参加を切に願うところです。



令和 3 年度の収支決算



収入：3,407,751 円 支出：2,613,974 円 残：793,777 円（次年度繰越）



岩切地区共同募金会 ~ご協力ありがとうございました

岩切地区各町内会募金総額 974,170 円（令和3年12月）区共同募金会へ納入

皆様からの募金は、災害被災世帯への災害見舞金のお届けや、住みよい地域づくり支援活動・子育て支援事業等あらゆる福祉事業に役立てています。

ご退任された方々

福祉委員

北原 佳代様（畑中北・在籍 12 年）
千葉いつ子様（畑中北・在籍 10 年）



～永きにわたり福祉活動にご尽力いただきありがとうございました。

★★ 福祉委員を募集しています ★★

あなたも、高齢者や障害のある方が地域で安心して暮らしていくための支援活動を始めてみませんか。

※活動詳細については、地区福祉委員にお問い合わせください

令和4年度の事業

岩切地区内の各種団体と連携しながら、安心・安全で明るく住みよい地域づくりに努めてまいります。

- | | |
|--|---------------|
| ① 小地域福祉ネットワーク活動の推進 | ④ 研修会・広報活動の充実 |
| ② 福祉事業
地域ふれあい福祉懇談会・こども食堂・豊齢ご夫婦の集いは、
いずれも新型コロナの影響により中止とさせていただきます。 | ⑤ 団体支援・助成 |
| ③ 災害時要援護者支援体制や防犯、防災対策の充実 | ⑥ 協賛行事への参加 |
| | ⑦ 他団体とのイベント共催 |

令和4年度 役員体制

役 職	担 当	氏 名
会 長		渡 辺 敏 之
副会長	総 務 ・ 共 募 会 長	大 里 伸 治
副会長	地域福祉活動推進委員	齊 藤 久 美 子
理 事	会 計 ・ 共 募 副	佐 々 昂
理 事	庶 務	上 田 一 雄
理 事		相 模 依 子
理 事		伊 藤 啓 子
理 事		伊 藤 理 恵
監 事		井 上 恒 男
監 事		門 間 榮 一

令和4年度社協会費内訳

町 内 会 名	世帯数	金額（円）
洞 ノ 口	790	237,000
若 宮	580	174,000
入 山	136	40,800
台 ケ 原	305	91,500
大 橋	105	31,500
畑 中 北	180	54,000
畑 中 南	270	81,000
今 市 下 区	550	165,000
今 市 中 区	200	60,000
今 市 上 区	165	49,500
余 目	440	132,000
山 崎	315	94,500
岩切三丁目	240	72,000
県営自治会	60	18,000
分 台	351	105,300
町内会合計	4,687	1,406,100
特 別 委 員	60	60,000
合 計		1,466,100

編集後記

私たちの生活を一変させた新型コロナですが、切羽詰まった状況に追いこまれたからこそ出来たものも多くあります。地震や大雨災害も身近なものとなり日頃の備えの大切さも浸透してきました。避けて通るわけにいかないものは前向きに対応しようということでしょうか。

さて、お陰様で「岩切社協だより」第25号を発行する運びとなりました。限られた紙面ですが、編集委員の熱い思いを込めました。

皆様方のご健康とコロナの終息を願っております。

今後とも岩切地区社会福祉協議会をよろしく願います。

編集委員一同